

(共同リリース)

2026年9月1日
日本航空株式会社
株式会社プラスロボ
株式会社ドットライン

ボランティアマッチングサービス「スケッター」とマイルを活用した 障がいのある方の社会参画を目指す取り組みを開始

～系列施設でのボランティアとマイルの獲得を通じた社会活動の実践機会を創出します～

日本航空株式会社(以下「JAL」)、株式会社プラスロボ(以下「プラスロボ」)、株式会社ドットライン(以下「ドットライン」)の3社は、障がいのある方の社会参画と社会活動の機会創出を目指すとともに、お手伝いの謝礼としてマイレージを提供する新たな取り組みを開始します。



近年、障害者差別解消法の改正などを背景に、障がいのある方が社会の中で能動的に活動し、自信を深めていく環境づくりが求められています。そうした中、ドットラインが運営する児童発達支援・放課後等デイサービス「ドットジュニア(*1)」を利用する方々でご希望される方に、プラスロボが運営する介護福祉に特化した謝礼付きボランティアマッチングサービス「Sketter(以下「スケッター(*2)」)」を活用して、他の系列施設へ出向いてお手伝いやボランティア活動を行う仕組みを導入します。日頃利用する施設のみならず他施設でもお手伝いを行い、謝礼を受け取る一連のプロセスは、社会活動を行う重要な練習機会となります。これまで、複数の施設間における参加と受け入れや、謝礼の授受などを個別に管理することは運用上のハードルが極めて高く困難とされていましたが、既存のスケッターの仕組みを活用することで、他の一般ユーザーと同じ枠組みの中で安全かつスムーズに社会参加を実践できる環境を実現しました。

また、ドットラインが運営する施設へのボランティア参加者は、謝礼としてJALのマイレージを獲得できます(*3)。獲得マイル数はボランティア活動の内容に応じて設定されており、居住エリアに関係なく、どなたでもボランティアに参加することが可能です。自ら手に入れたマイルを特典航空券などに交換して移動や旅行を体験していただくことで、さらなる社会参加や広域での活動へとつながる次の移動を後押ししてまいります。そして、旅先やゆかりの地域で福祉に関わる二地域での社会参加など、移動と福祉をつなぐ新しい活動スタイルを提供します。

3社は、本取り組みを通じて誰もが自分らしく社会と関わり、人生を豊かにできる持続可能な共生社会の実現に貢献するとともに、「孤独・孤立」「人口減少・地域の衰退」「介護人材の不足」といった社会課題の解決に取り組んでまいります。

(*1)<https://pi.dotline-ip.com/jigvousho.kagavaki/>

(*2)<https://www.sketter.jp/>

(*3)<https://lp.sketter.jp/>

以上